

随意契約結果及び契約の内容

業 務 の 名 称	平成29年度 名古屋港物流ターミナル整備効果検討業務
業 務 概 要	本業務は、名古屋港の物流ターミナル整備事業の費用対効果分析を実施すると共に、新土砂処分場及び中航路を含めた費用対効果分析の検討を行うものである。
契約担当官の氏名並びにその所属する部局の名称及び所在地	分任支出負担行為担当官 名古屋港湾事務所長 池田 哲郎 愛知県名古屋市港区築地町2番地
契 約 年 月 日	平成29年 8月21日
契 約 業 者 名	中央復建コンサルタンツ(株) 中部支社
契 約 業 者 の 住 所	名古屋市中区錦2-3-4
契約金額(税込み)	¥15,120,000
予定価格(税込み)	¥15,575,531
随意契約によることとした理由	<p>本業務の手続きとしては、「プロポーザル方式」を採用することとし、公募により参加表明があった者の内で資格を満たした者から技術提案書を求め、「担当技術者の経験能力」「業務の実施方針・業務フロー・工程計画等」及び「特定テーマに対する技術提案」について、提出された技術提案書の記載内容と担当技術者へのヒアリングにより評価を行った。</p> <p>審査の結果、総合的に最も評価値が高位である「中央復建コンサルタンツ株式会社」を契約の相手方として特定した。</p> <p>よって、会計法第29条の3第4項並びに予算決算及び会計令第102条の4第3項の規定により、「中央復建コンサルタンツ株式会社」と随意契約するものである。</p>
業 務 場 所	名古屋港湾事務所
業 務 区 分	建設コンサルタント等
履 行 期 間 (自)	平成29年 8月21日
履 行 期 間 (至)	平成30年 3月16日
備 考	

